

令和3年度第1回理事会議事録

1. 日時 令和3年4月27日・火曜日 15:00～17:00
2. 場所 (一財)機械振興会館 6階-67号室
3. 出席者 辻理事長、上田副理事長(WEB)、山田(勝)副理事長、佐藤専務理事、山田(誉)理事、田崎理事(WEB)、吉澤理事(WEB)、丸山理事(WEB)、田中理事(WEB)、北川理事(WEB)、滝本理事(WEB)、山口理事、黒川理事、治田理事(WEB)、山田(昌)理事、青木監事、加藤監事、中澤事務局長[順不同]

4. 議事の概要

まず、事務局より、本日の出席状況について理事20名中出席15名(うちWEB参加者8名)、の出席により理事過半数出席として会議が成立した旨の報告がされ、次いで理事長より開会の挨拶が行われた後に審議に入った。

第1号議案 令和2年度事業報告(案)並びに収支報告(案)の承認 について

佐藤専務より、まず配布資料の「令和2年度事業報告(案)」に基づき事業活動の概況と実施事業活動の報告が行われ、活動は基本的にコロナ感染症対策としてオンラインで実施されたこと、自動車関係4団体による連携事業活動が積極的に実施されたことなどが説明された。

次いで令和2年度の収支報告(案)については、収支ともに当初予算額より減額となったが、収入超過分を投資活動支出とし、繰越金額は前年度と同額とすること等が報告された。

詳細としては、実質収入としての会費収入等は賛助会員1社が入会したものの正会員1社が退会したため僅かに減額となったが、負担金収入は海外派遣事業や賀詞交歓会などがコロナ感染症対策のため実施されなかったため大幅に減額となった。支出では事業費について海外派遣など負担金事業関係の支出がなかったことから大幅な減額となったこと、管理費ではコロナ感染症対策のオンライン通信関係機材購入費などの支出や自動車関係5団体の広報費など当初予算には含まなかった支出もあったが、総会費用や出張旅費などが減額となったことから当初予算額を下回り、結果として事業活動収支差額は当初予算の収入超過額見込みを約74万円ほど上回る5,692,372円の

収入超過となった。

また、投資活動では、事業活動収支差額が当初予算を上回ったため、退職給付引当資産取得支出は予算通り 63,600 円を支出したが、展示会等積立金取得支出額は当初予算より増額した 5,628,772 円を支出し 5,692,372 円の支出超過とすることで事業活動収支と投資活動収支を均衡させたことが報告された。

最後に、令和 3 年 4 月 26 日に工業会事務局にて青木監事と加藤監事により監査が実施され、事業運営及び財務処理は、定款等関係規定に基づき適法かつ公正妥当に執行されている旨が監査意見書として報告された。

以上を、議長が議場に諮ったところ、出席者一同異議無くこれを承認した。

第 2 号議案 令和 3 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の承認 について

佐藤専務より、令和 3 年度の事業計画について配付資料にもとづき説明が行われたが、今年度は未だコロナ感染症の早期の鎮静化が見込めず、事業活動の中心はオンラインにて行われるが、総務委員会は SDGs、技術委員会はカーボンニュートラルをそのメインテーマとして取り組むこと、自販連を新たに加えた自動車関係 5 団体での活動の強化などが説明された。

次いで収支予算(案)についても配付資料に基づき説明が行われ、実質収入である会費収入は前年度より若干の減少になること、負担金収入は海外派遣事業などの負担金事業が実施されないため前年度予算比で大幅な減額となることが説明された。また、支出ではコロナ感染症対策による活動自粛のため事業費の諸費支出が減額となり、負担金事業支出も大幅に減額となるが、管理費関係はコロナ感染症対策に伴う旅費支出や会議費支出の減額はあるもののコロナ感染症対策のための機材購入費や自動車関係 5 団体の連携活動の負担金も見込まれるためほぼ前年度と同額になる見込みであるとした。これらの結果、収入超過が見込まれる事業活動収支差額を投資活動支出として積立て、前年度同様に収支均衡の予算として計上したことが報告された。

以上を、議長が議場に諮ったところ、出席者一同異議無くこれを承認した。

第 3 号議案 その他

- ① 令和 3 年度の通常総会については、5 月 28 日(金)に実施することとしてその実施概要案が了承された。

- ② 令和3年度永年勤続優良従業員表彰被表彰者について配布資料に基づき、4月27日現在4社から6名が推薦されている事が報告され、未だ推薦者のない会員に対して今後改めて推薦の検討を依頼し了承された。

その他、提案事項について議長が諮ったところ、他に意見もなく、以上をもって議事を終了した。以上、理事会の議事を証するため議長及び議事録署名人がここに記名押印する。

令和3年4月27日 一般社団法人 日本自動車機械器具工業会
議長 辻 修
議事録署名人 上 田 俊 次
山 田 勝 己
同 青 木 浩 孝
同 加 藤 弘 樹

令和3年度第2回理事会議事録

1. 日 時 令和3年5月28日・金曜日 14:15～14:30
2. 場 所 (一財)機械振興会館 6階-66号室
3. 出席者 辻理事長、上田副理事長(WEB)、山田(勝)副理事長、佐藤専務理事、山田(誉)理事、吉澤理事(WEB)、丸山理事、田中理事(WEB)、北川理事(WEB)、滝本理事(WEB)、松村理事(WEB)、山口理事、黒川理事、山田(昌)理事、青木監事、加藤監事、中澤事務局長
[順不同]

まず、事務局より、本日の出席状況について理事20名中、14名が出席(うちWEB参加者6名)しており会議が成立した旨の報告があり、次いで理事長より開会の挨拶が行われた後に審議に入った。

第1号議案 令和3年度通常総会上程議案(案)の承認について

佐藤専務理事より、本日の通常総会に上程される議案については前回の第

一回理事会にて報告・了承済みであったことから概略の説明にとどめ、承認された。

第2号議案 永年勤続優良従業員表彰の被表彰者の承認について

資料配付の別紙6名が令和3年度の被表彰者として了承された。

その他、提案事項について議長が諮ったところ、他に意見もなく、以上をもって議事を終了した。以上、理事会の議事を証するため議長及び議事録署名人がここに記名押印する。

令和3年5月28日

一般社団法人 日本自動車機械器具工業会

議 長	辻	修
議事録署名人	上田 俊次	
同	山田 勝己	
同	青木 浩孝	
同	加藤 弘樹	

令和3年度第3回理事会議事録

1. 日 時 令和3年7月29日・木曜日 15:00～17:00
2. 場 所 オンライン開催
3. 出席者 辻理事長、上田福理事長、山田(勝)副理事長、佐藤専務理事、山田(誉)理事、吉澤理事、丸山理事、北川理事、三木理事、滝本理事、山口理事、松村理事、黒川理事、治田理事、山田(昌)理事、青木監事、加藤監事、中澤事務局長
オブザーバー参加 (株)アイシン 前田氏、(株)スギヤス 井上氏 [順不同]

4. 議事の概要

まず、事務局より、本日の出席状況について理事20名中、出席者15名により会議が成立した事が報告され、引き続き、辻理事長より開会の挨拶が

行われ後に審議に入った。

第1号議案 令和3年度の事業実施計画（案）の承認について

佐藤端専務理事から配付資料に基づき各委員会毎の説明が行われ、総務委員会については、すでに実施済の事業として7月12日(月)に理事長による報道会見が広報活動の一環として実施されたほか、4月6日(火)に5団体関連事業として当会会員の(株)空研による「手持動力工具の安全使用講習会」、5月17日(月)～18日(火)には技術委員会との共催で「中小企業が取り組むためのSDGs オンラインセミナー」がそれぞれ実施されたことが報告された。

次いで今年度の総務委員会の主要活動テーマをSDGsとし、その凡その活動スケジュールを①実態調査(8月～9月頃)、②問題点の把握・対応策の検討(10月～12月頃)、③取組み方針案の選定(1月～2月頃)としたことが説明された。

このほか、ニュース便覧のホームページでの公開と簡易製本版の配布、生産実績、企業動向などの各種調査、永年勤続表彰、賀詞交歓会などの事業は基本的に特に問題がなければ例年通り実施するとした。

技術委員会については、まず総務委員会との共催事業としての講演会が既に実施されたことが報告され、次いで技術委員会の今年度の主要活動テーマを環境問題への対応としてカーボンニュートラルに取り組むこととし、その凡その活動スケジュールを①実態調査(7月～8月頃)、②問題点の把握・対応策の検討(9月～11月頃)、③取組み方針案の選定(12月～1月頃)としたことが説明された。このほか、可能であれば技術サポートとして企業視察や講演会も検討するとした。

また、分科会活動としては、故障診断分科会、門型洗車機分科会、タイヤ機器分科会についてこれまで通り活動を継続することが報告された。

なお、カーボンニュートラルは広義でSDGsに含まれることから上述の総務委員会と技術委員会の調査や講演会は可能であれば両委員会共同にて実施することも併せて説明された。

このほか、総務委員会と技術委員会は、自動車関連5団体の連携事業などの紹介も会員に行っていくことなどが併せて説明された。

国際委員会では、コロナ感染症対策のため今年度の海外派遣事業は実施

せず中止することとしたが、自動車用機械工具の輸出実績調査は例年通り実施し、機械工具協会会員分と合算した業界全体の輸出額を公表するとした。また、海外向けプレゼンテーションとして令和2年度に作成した工業会のQRコードを活用した広報活動を検討することや、ホームページの見直しなどを行うことなどが説明された。

以上、議長が議場に諮ったところ、出席者一同異議無くこれを承認した。

第2号議案 その他

その他について議長が諮ったところ、他に意見もなく、以上をもって議事を終了した。以上、理事会の議事を証するため議長及び議事録署名人がここに記名押印する。

令和3年7月29日

一般社団法人 日本自動車機械器具工業会

議長	辻	修
事録署名人	上田	俊次
同	山田	勝己
同	青木	浩孝
同	加藤	弘樹

一般社団法人日本自動車機械器具工業会 第四回理事会（書面審議）報告

1. 送付日 : 令和3年12月21日（火）書面発送
2. 了承日 : 令和4年1月24日（月）
3. 議 題 : 賛助会員(新明工業株式会社)の入会承認について
4. 回答状況 : 発送数20、回答数20、
5. 回答結果 : 同意する20名、同意しない0名

以 上